

2016(平成 28)年 9 月 27 日

プレスリリース

東燃ゼネラル石油株式会社  
日 揮 株 式 会 社

### バイオマス発電事業の実施について

東燃ゼネラル石油株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:武藤 潤、以下「東燃ゼネラル」と日揮株式会社(本社:横浜市西区、代表取締役会長:佐藤 雅之、以下「日揮」)は、北海道室蘭市港北町に所在する東燃ゼネラルの遊休地を活用して、共同で「室蘭バイオマス発電合同会社」(以下「新会社」)を設立し、バイオマス発電事業を実施することを決定しましたのでお知らせします。

新会社は、環境保全に十分配慮した高効率のバイオマス発電所を建設する予定で、木質バイオマス専焼の発電所としては国内最大級となります。また、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用した発電事業を行います。東燃ゼネラルがこれまで蓄積した電源開発のノウハウと、日揮がこれまで国内外で培った発電事業および発電設備の設計、建設のノウハウを最大限活用しながら安全かつ安定的に事業を推進するとともに、操業する地域社会の発展・活性化に貢献してまいります。

東燃ゼネラルは、電力事業を成長戦略の柱の一つと位置づけ、電源開発と電力販売を両輪とした電力事業を推進することで、需要家の皆さまに対して長期安定的な電力供給を行っていくことを目指しています。本件は、東燃ゼネラルが進める高効率火力電源開発を含めた電源の多様化の一環であり、再生可能エネルギーの導入・普及の促進を目指す国の政策に合致するものと認識しています。東燃ゼネラルグループは、環境負荷の低減に取り組みつつ限りある資源を有効活用し、持続可能な地球環境の維持に努めてまいります。

日揮は、2000 年代半ばより、在来型燃料を用いた独立系発電事業(IPP: Independent Power Producer)に参画し、更に 2010 年以降、国内外において太陽熱および太陽光による再生可能エネルギー発電事業に取り組み、国内外で発電事業に関する実績と知見を重ねてまいりました。また、本年 5 月に発表した中期経営計画「Beyond the Horizon」では、インフラ分野における事業のさらなる強化・拡大を掲げ、環境・新エネルギー事業を拡大分野と位置付けており、新会社への参画はその方針に沿ったものとなります。日揮は、今後も、バイオマスを含む再生可能エネルギーを用いた発電事業を積極的にすすめることで、持続可能な社会の実現に世界的に貢献してまいります。

### 記

#### 【室蘭バイオマス発電合同会社の概要(予定)】

本店所在地: 東京都港区(2017 年 8 月工事着工時を目途に建設用地の室蘭市に移転)  
社長: 榎田 真之(えのきだ まさゆき)  
資本金: 1 億円  
設立日: 2016 年 10 月 11 日  
出資比率: 東燃ゼネラル 90%、日揮 10%

**【バイオマス発電所建設計画の概要】**

事業予定地： 北海道室蘭市港北町に所在する東燃ゼネラルの遊休地  
総敷地面積： 約 4 万㎡  
発電規模： 7.49 万 kW  
燃料： 木質バイオマス専焼(主にパームヤシ殻)  
発電設備： 循環流動層ボイラー、再熱式復水タービン  
着工開始時期： 2017 年(予定)  
運転開始時期： 2020 年春(予定)

以上

**【お問い合わせ先】**

東燃ゼネラル石油株式会社  
広報 CSR 統括部メディア広報部  
担当: 甲斐/神前/新井  
TEL: 03-6713-4400

日揮株式会社  
広報・IR 部  
担当: 遠藤/扇/佐野  
TEL: 045-682-8026